

季刊

青春本棚通信

第

26

号



第9回ビブリオバトル参加者

2023
冬

LINEUP

◆第9回『松山市立中央図書館ビブリオバトル』大紹介◆

◆青春ひとことLINE ～ 図書館の人にきいてみた～

◆本好きのコーヒープレイク ～ 冬を楽しむ本～

◆図書館ダンジョン・エクスプローラー ～ 秘蔵図書探索～

◆図書館投稿のススメ ～ 青春本棚で投稿を紹介してみよう～



特集『第9回 松山市立中央図書館ビブリオバトル』大紹介！

令和4年10月29日(土曜日)に、『第9回 松山市立中央図書館ビブリオバトル』が開催されました！

中学生7名・高校生5名のバトラーたちが、おすすめ本を紹介した後、『どの本が一番読みたくなったか』を会場に集まった参加者全員で投票して、中学生・高校生の部ごとに**チャンプ本**が決定しました！

出場したバトラーたちの**熱い紹介メッセージ**をお届けします！**皆さんが気になる本をぜひ読んでみてください！**

中学生の部・第1組 チャンプ本

『晴れたらいいね』（藤岡 陽子//著・光文社）

松山市立津田中学校 3年/菅 葵さん紹介



「晴れたらいいね」は、主人公の女性看護師・紗穂が夜勤をしている所から始まります。**突然地震に見舞われ意識を失ってしまい、気が付いたら1944年のフィリピン・マニラ**にいて、さっきまで病室にいた高齢患者・雪野サエの若い姿になっていたのです。ここだけ聞くとなかなかぶっ飛んだストーリーですね…。ですが、1944年は第二次世界大戦が行われていた時期。そう実は戦争の本なんです。紗穂は困惑を抱えながら反戦の意志と生きる希望をもって過酷な日々を乗り越えていきます。ただ反戦の意志を伝えるだけでなく、力強く生きていくこと、命の尊さを教えてくれる本です。また、**タイトルがなぜ「晴れたらいいね」なのか**も注目して読んでください。

中学生の部・第1組 紹介本

『告白』（湊 かなえ//著・双葉社）

松山市立日浦中学校 2年/高須賀 三栞さん紹介



本はいろいろなことを想像することができ、主人公になったり相手の立場になったり、第三者の私たちを引き込んでいます。これは、「告白」という魅惑のキーワードに引き込まれていくストーリーです。目に見えるものが告白とは限らない。**何が嘘で何が本当か**、ミステリーに隠された恐怖と裏切りとは！**愛する人を亡くした人間の復讐の物語**です。一つの出来事が止められない、止まらないドミノのようにストーリーは進むのです。「告白」に出てくる登場人物は気持ちとは裏腹の展開、**最後に待ち受けているラストとは？**みなさんが笑顔でいられる世界であってほしいです。

中学生の部・第1組 紹介本

『天久鷹央の推理カルテ 1～13巻』（知念 実希人//著・新潮社）

愛媛県立松山西中等教育学校 2年/坂井 希帆さん紹介



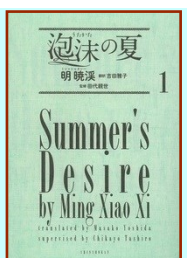
本格的な医療ミステリーだけど、1話目を読み終える頃には**ハマってしまう位面白い本**です。スパコン並みの頭脳で、医療や時には他の分野の知識も使って色々な事件や謎を解決する天久鷹央、小鳥と呼ばれる主人公小鳥遊優などキャラクターも個性的で、くすっと笑えたり、ちょっぴり泣けたり、不気味さにぞっとしたり…。

ストーリーも様々です。**全然難しくない**ので、ミステリーを読んだことのない人や、本嫌いの人にも、ぜひ読んでみてほしいです。

中学生の部・第1組 紹介本

『泡沫の夏 全3巻』（明 曉溪//著・新書館）

済美平成中等教育学校 3年/青山 和加さん紹介



この本は、平たく言ってしまえば**「屋ドラ」**として認知されていますが、**実は全然違います**。とすればチープな恋愛ものになってしまいそうな設定を、作者は**見事なヒューマンドラマ**として仕上げています！恋愛ももちろんですが、兄弟(姉妹)愛や友愛、親子愛などさまざまな「愛」が織り込まれた「ラブストーリー」の、まさに醍醐味だと思います。ストーリー展開の面白さもまた別格。**衝動的で美しい事件の連鎖**に引き込まれます。私はそれにハマって(もちろん最初は興味ゼロ)、最終的には主人公をはじめとした人々の人間らしさに泣いてしまいました。ぜひ読んでいただきたい、極上の一作です！

中学生の部・第2組
チャンプ本

『保健室経由、かねやま本館4』（松素 めぐり//著・講談社）

松山市立南中学校 2年/溝田 みこの さん紹介



私は著者の松素めぐりさんはとてもすごい人だと思っています。その理由は松素めぐりさんの「言葉の力」です。読者を本の世界に引き込むだけでなく、言葉で私達をいやしてくれるからです。私は本を読んで、「こんな風に生きたいな」と思うことがありますが、この本は「笑顔で前向きに生きたいな」と思わしてくれる本です。そして、それだけではなく本を読み終わった後にもうすでに自分が前向きになったような気がしてきます。つまり「～したい」という未来に向けてのことではなくて「これから～したい」と現在から未来につながるような気持ちに変わっていくのです。これが松素めぐりさんの「言葉の力」のすごさであり、他の本にはない素敵な部分です。

この本には中学生が行くことのできる「かねやま本館」という休けい所が出てきます。しかし私はこの本を、中学生だけでなく大人の方やどんな世代の方にも読んで欲しいと思っています。そう思う理由は、この本はどんな人でも読めば勇気と元気がわいてくる言葉であふれているからです。どんな人でも、心も体も元気になってしまう不思議な「かねやま本館」。自分の周りには味方がいないと思っていたり、こんなことでクヨクヨ悩んでいてはダメだと思っていたりする人がいると思います。でも「かねやま本館」という温かくて愛おしい空間のように、「ゆっくり休んでいい！」と言ってくれる場所はあなたの周りにたくさんあります。この本を読んでたくさんの元気をいっぱいチャージしてみてください。

中学生の部・第2組
紹介本

『盗賊会社』（星 新一//著・新潮社）

松山市立鴨川中学校 1年/神田 康成 さん紹介



私はこの本のどこが好きかというと、本のページがイイにおい(新潮文庫さんの!!)と、とにかくみじかい所です。長ったらしくて登場人物の名前を忘れてしまうこともなく、結末出るのも早く(でもすごく意外!）、時間がな
い人、ひまつぶしにピッタリ! それにどこかなつかしいような気もするし・・・

小説は長いからキライ、そもそも本自体あまり読まない、と言う人は、一回だけでも読んでみてください。たくさんあるし、読んでてあきないと思います。きっと楽しかったと思うでしょう。

中学生の部・第2組
紹介本

『ドラゴンと魔法の水：マジックツリーハウス15』（メアリー・ポープ・オズボーン//著・メディアファクトリー）愛媛県立松山西中等教育学校 3年/毛利 太裕さん紹介



兄のジャックのいざというときの勇気と、妹のアニーのとてつもない行動力はすごいと思います。ジャックの少し怖がりな所と、アニーの考えずに行動してしまう所の欠点も互いに補い合っている姿を見ると(シーンを読んでいると)この二人は最高のパートナーなんだと思います。

この15巻はアーサー王の世界(神話の世界)を冒険していますが、他の巻では歴史上の偉人を助けたりなど、歴史の勉強にもなります。ページ数が少なく、巻数も多いので。スキマ時間にたくさん本を読みたいという人にもおすすめです。

ここから高校生の部

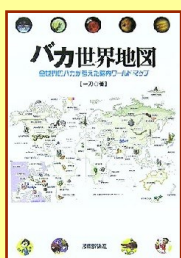


ここまで中学生の部

高校生の部
チャンプ本

『バカ世界地図』（一刀//著・技術評論社）

愛媛県立松山西中等教育学校 4年/新田 亮 さん紹介



この本では、いろいろな人の意見をまとめて作った地図が前半にあり、後半には、書いた地図や情報を送ってくれた人の中で、特におもしろかった人のものをそのままのせているパートがあります。そこを見ると、全世界のバカ共がそれぞれどのような地図を思い浮かべてるかがわかり、それもまたおもしろいです。そして後半にはもう一つパートがあり、それは世界どころか宇宙までバカ共に考えてもらった地図(?)があります。そこでも地球が宇宙の中心にあったり、星がフラットになっていたりして、シュールで笑えます。この「バカ世界地図」には、日本バージョンもあり、そちらも自分たちがくらしている国が変わっていく様子が詳しく書かれていておもしろいのでおすすめです。

高校生の部 紹介本

『トリツカレ男』（いしい しんじ//著・ビリケン出版）

済美平成中等教育学校 5年/吉田 賢治 さん紹介



みなさんは**何かに「トリツカレ」たことはありますか？**料理にゲーム、読書に音楽。様々なものがあると思います。今回おすすめする「トリツカレ男」という作品は、いろいろなものにトリツカレてしまいトリツカレ男というあだ名をつけられるような男ジュゼッペが風船売りの少女ペチカに恋をするのですが、その女の子には別に好きな人がいて…というお話です。え！？この本のいい所を一言で表せて？う～んそうだなあ。一言で言うなら**「安心的ほっこり」**かな。最近寒くなってきたし、あたたまりたい！ほっこりしたいというそのあなた！きっとこの本を読んだら頬がゆるんでほっこりしてしまうでしょう。絵本口調で読みやすく、老若男女いろんな人が楽しめる本になっています。**150ページほどでかなり短い**のでぜひお手元においてみてください

高校生の部 紹介本

『封神演義 上・中・下巻』（許 仲琳//著・偕成社）

愛媛県立松山西中等教育学校 4年/中野 威吹 さん紹介



封神演義には、**たくさんのライバル、仙人、武将がでています**。大規模な戦いが進む中で、**いろいろな、妖魔や妖術を楽しむことができます**。

哪吒(なた)と呼ばれる「花の精」は私のお気に入りの人物です。空中に浮きながら、強力な槍をくりだすシーン注目です。投げると、相手に勝手に当たる、金の輪を使いこなして、相手を倒す哪吒が大好きです。

高校生の部 紹介本

『キノの旅 1～23巻』（時雨沢 恵一//著・KADOKAWA）

愛媛県立松山西中等教育学校 4年/好岡 勇伊さん紹介



キノがさまざまな国を旅する話なのですが、さまざまな特長があり、あきないだけでなく時々トる、キノがパースパイダー(銃火器)を使ったアクションシーンなどもあり、**本当にあきる事はありません**。また、キノの師匠や、とある国の王子だったシズ、元奴隷だったフォトなどの物語も書かれていて、時々**それぞれの話につながりがあったりしてとても面白い**です。シリーズ物で23巻まで今でいて、まだ出ている長編物です。また、番外編のような物である学園キノという本も出ているのでぜひ読んでみてください。

高校生の部 紹介本

『ショートショート千夜一夜』（田丸 雅智//著・小学館）

松山学院高等学校 3年/井上 ともか さん紹介



皆さんは**「夏と言えば？」**と聞かれたら、何を思い浮かべますか？私は**「お祭り」**です。お祭りの独特な雰囲気が好きで、毎年行っていたのですが、ここ数年は行けていません。そこで、**この本で少しでもお祭り気分を味わっています**。「ひもくじ屋」や「絵描きの八百屋」など、**お祭りに関する話がたくさん入っています**。ショートショート小説なので、短時間で1つの話が読めちゃいます。それってすごく素てきなことだと思いませんか？5分だけでも、その場で祭りに行っているような、そんな気分が味わえるんです。皆さんもこの**田丸ワールドを、体験してみたい**です。そして、お気に入りの話をみつけて、たくさんの人と共有してほしいと思います。

来年は、いよいよ10回目！『ビブリオバトル』、あなたもやってみませんか？

1. ひとり**1冊**ずつオススメしたい本を持って集合しましょう。
2. ひとりずつ順番に**制限時間5分**でオススメ本の紹介をします。
3. それぞれの発表後に、**制限時間2～3分**で紹介内容についてのディスカッション(質疑応答)をします。
4. 全員発表後、「どの本が一番読みたくなったか」を全員で投票し、最も得票数の多い本が**「チャンプ本」**となり

ビブリオバトルの公式ルール

